

2008.7.31

みなさんこんにちは、男女共同参画WGです。毎日本当に暑いですね。どうぞ体調にはくれぐれもお気をつけください。

さて、私たちが体調を崩したとき、頼りはもちろんお医者さんですが、島大医学部医学科の学生のうち、その半数近く、学年によっては半数以上が女子学生なのをご存じでしょうか？そして看護学科学生のほとんどは女子学生です。医師不足・看護師不足の深刻なこの島根県で、「女は専業主婦こそが美德だ」なあって言っていたら、島根の地域医療は崩壊します。そのため、医学部附属病院では全学に先行して、昨年度「女性スタッフ支援室」を設置し、女性医療職支援や医学部学生・構成員への意識啓発事業などを開始しています。

そして今年度島根大学は「女性研究者支援モデル育成」プログラムの採択をうけて、「男女共同参画推進室」を設置し、全学的に男女共同参画推進事業に取り組むことになりました。男女がともに家庭責任をわかちあい、一人一人がその能力を十分に発揮することができる大学づくり・社会づくりは、いま、大学が、島根が、そして日本が危機にあるからこそ、急務だと思うのです。

島根大学に「男女共同参画推進室」が新設されます

7月22日、島根大学の新たな1センターとして「男女共同参画推進室」の設立が役員会で決定しました。これから事業専任のスタッフとして教員2名、技術補佐員3名、および女性相談業務にあたるカウンセラーを2名採用し、10月には事業を開始できるようにする予定です。参画室の場所としては、松江キャンパス本部棟の真向かい、教育学部棟1Fの入口を入ってすぐ左のお部屋を当面使わせていただくことになりました。お部屋はまだ空っぽで何もありませんが、今後をどうぞご期待ください！

VTR講演会「男性の育休を通じて考えるワークライフバランス」

～出雲キャンパスで大好評だった講演会のVTRを、松江キャンパスで上映します～

日時：8月4日（月）17時より

場所：法文棟2階 多目的室

講師：山田正人氏：経済産業研究所総務副ディレクター

『経産省の山田課長補佐、ただ今育休中』の著者

附属病院女性スタッフ支援室が6月24日（火）に出雲キャンパスで開催した、山田正人氏の講演会 VTR を上映いたします。本講演では、男性が育児の主担当者になって見えて来

るもの、について斬新な切り口で語られ、出雲キャンパスの職員・学生に大きなインパクトを与えました。松江キャンパスのみなさん、この機会をお聞き逃しなく！そして、全学的に「ワークライフバランス」を考えるきっかけにしましょう！

なお上映に先だち、医学部の津森登志子先生（男女共同参画WG委員兼附属病院女性スタッフ支援室委員）に、松江ではあまり知られていない、附属病院女性スタッフ支援室の取組について少しご紹介いただくことになっています。

病児・病後児保育室が大盛況、シッターを緊急追加募集しました！

—出雲キャンパス、附属病院女性スタッフ支援室—

附属病院女性スタッフ支援室はこの4月から病児・病後児保育をスタートさせました。開始直後の4月の利用者は1人だったものの、5月：14人、6月：28人と急増、7月現在ほぼ毎日利用者があり、職場内に病児・病後児保育室があることの利便性、重要性を再認識することになっています。しかし、その一方、現在の病児シッター2名の体制では室の運営が厳しい状況になっており、急遽、その補助シッター（保育士免許所有者）を募集することになりました。詳しくは、女性スタッフ支援室HPをごらんください。

☞<http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/woman/bosyu3.html>

このメールマガジンについてのご意見・ご質問等は

kyodo-sankaku@jn.shimane-u.ac.jp

まで お願いいたします。

★ お願い ★ このメールマガジンは、島根大学の構成員全員にお伝えしたい内容を掲載しております。allstaff 宛のアドレスにお送りしていますが、学部によっては講座の代表者の方にしか届かない設定がされているところがあるようです。そのような場合は、代表の方が講座内のスタッフ全員に転送・配信下さいますようお願いいたします。また、PC環境にないスタッフがおられる講座等では、たいへんお手数ですが、プリントアウトして回覧していただければ幸甚です。